



羅針盤

令和4年

3月

第108号

月刊

ロゴデザイン：後藤章（ホームヘルプセンター武蔵野）

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

誌面より

- 40周年を迎えました ……1ページ
- 令和3年度事業報告会開催
- 「武蔵野市福祉公社 法人案内」ができました ……2ページ
- 令和3年度第2回権利擁護事業等運営監視委員会
- デイサービス 豆まき ……3ページ
- お知らせ、リレーコラム・編集後記 ……4ページ



◀ 会場の様子

リモート併用での開催。式典後の事業報告会も多くの方にご覧いただきました。

2月13日（日）、武蔵野スイングホールにおいて福祉公社の40周年記念式典を開催しました。福祉公社は1981年（昭和56年）に福祉全体のレベルアップを図るとともに市民福祉の増進に寄与することを目的とし、事業を開始しました。

式典の冒頭、森安理事長は「福祉公社があっけよかったと、実感し続けていただけるように引き続き安心のパートナーとして、これから50周年、さらにその先に向けて邁進する決意です」とご挨拶申し上げました。

そして、来賓を代表して松下玲子市長と土屋美恵子市議会議員からご祝辞をいただきました。松下市長からは、福祉公社ホームヘルプセンターでのご自身の訪問介護体験から福祉事業に従事する職員の大変さを改めて認識されたこと、福祉公社の事業の重要性についてお話いただきました。土屋市議会議員からは「これからも公益法人として、少子高齢社会の

急速な進行に対応して時代の要請にこたえる事業を展開し、市民福祉の向上に寄与していただけることを期待しております」とのお言葉をいただきました。

その後、福祉公社事業のボランティアとして活動され、デイサービスの運営等にご協力いただいた方々に感謝状をお渡ししました。北町高齢者センターのボランティア63名、高齢者総合センターのボランティア23名が表彰されました。さらに、30年以上にわたり職員として職務に精励した荒井副参事と服部副参事に感謝状を授与しました。

式典は感染対策を考慮して開催し、会場に33名、リモートで65名の計98名の方にご参加いただきました。

これからも福祉公社は「住み慣れたところでいつまでも」を基本理念とし、市民の皆様の暮らしに寄り添い続けてまいります。（総務課 田中）

武蔵野市福祉公社40周年式典次第

■ 第一部 式典

開式挨拶 森安 東光 理事長

● 来賓祝辞

松下 玲子 武蔵野市長
土屋 美恵子 武蔵野市議会議員

● 来賓紹介

● 感謝状贈呈

● 謝辞

北町高齢者センターボランティア 内藤 博子 氏
高齢者総合センターボランティア 芳竹 勝也 氏
職員代表 荒井 好美

■ 第二部 事業報告会

● 事業報告 福祉公社各部署による報告

● ゲスト発表

社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会
地域福祉推進係 地域担当 片居 木由季 氏

● 講評

武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科
渡邊 浩文 教授

● 表彰

開式挨拶 小島 一隆 常務理事



◀ 式典での挨拶

松下 玲子 武蔵野市長（左）と、土屋 美恵子 武蔵野市議会議員（右）

写真提供：武蔵野市



令和3年度事業報告会開催

福祉公社では、年に一度、全部署がその年度の事業成果を発表する、事業報告会を開催しています。今年度は、40周年記念式典と同日に、コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、オンライン視聴も併用してのハイブリッドでの開催となりました。

最優秀賞は高齢者総合センターデイサービスセンターが、審査員特別賞には北町高齢者センターが、職員賞にはホームヘルプセンター武蔵野と権利擁護センターが選ばれました。

ご来賓の方や、表彰されたボランティアの方々にも発表を見ていただくことができ、例年と比べても、充実した事業報告会となりました。各職員も改めて他部署の業務内容を理解する機会となり、今後も各部署が緊密に連携して、より良い業務に活かしていきたいと思っております。

(研修委員会 白須)



最優秀賞

高齢者総合センター デイサービスセンター



『た一坊と暮らしたい』

私たちのデイサービスには、介護度の重い方や様々な課題をお持ちの方も通っていらっしゃいます。介護士・看護師・理学療法士の連携を通して、「その人らしい在宅生活を支えるために」私たちにできること、そして、私たちがそこから学んだことを報告しました。

(受賞者感想)

ご利用者とそのパートナーの「ずっと2人で暮らしたい」という気持ちに寄り添いチーム力でサポートしました。

これからも、武蔵野の地で市民の皆様が安心して住み続けられる様に私達の知恵と工夫で、質の高いサービスの提供をしていきます。

(高齢者総合センターデイサービスセンター 本橋)



審査員特別賞

北町高齢者センター コミュニティケアサロン



『Let's 個別機能訓練』

身体機能や日常生活機能の維持・向上のため、令和3年度より個別機能訓練をはじめました。いつまでも自分らしく自宅で生活したいという利用者の思いを尊重しながら、継続的に実施できるように支援をしている様子を報告しました。

(受賞者感想)

“継続は力なり”一人では続かない機能訓練に、ご利用者同士の励ましあいや、スタッフの声掛けで、運動機能が向上した取り組みについて発表しました。生き生きと取り組んでいらっしゃるお姿に接し、これからも内容を充実させ、ご支援したいと思います。

(北町高齢者センターコミュニティケアサロン 大木)



「武蔵野市福祉公社 法人案内」 ができました。

「すべての市民に安心できる老後生活を保障すること」を目指し設立された福祉公社は、設立40年を経た現在、高齢者福祉にとどまらず多岐にわたる福祉サービスを提供しています。各部署の写真を掲載しA3三つ折りの紙面に法人全体の事業を簡潔に紹介しています。青空と緑が鮮やかな武蔵野中央公園の写真が表紙です。ぜひ手に取ってご覧ください。(広報委員会 原)



▲ 広報委員会を中心に、職員の意見を取り入れながら制作しました。(福祉公社の各センター、本部事務所にも設置しています。また、ホームページからもPDFでご覧になれます。)



▲ 会場とリモートのハイブリット開催

矢島委員、小原委員長、杉田副委員長
(勅使委員、亀田委員はリモートでの参加)

令和3年度第2回権利擁護事業等運営監視委員会

福祉公社は、権利擁護事業等の適正性、透明性、公平性等を担保するため、ご利用者に係る金銭出納等の社内での段階的なチェックに加え運営監視委員会を設置し、第三者による監査を受けています。この権利擁護事業等運営監視委員会が1月28日に開催されました。

委員会に先立つ1月21日、司法書士の勅使委員他2名で、新規契約者の保管物や期間中の各事業の全ての出納を審査し、いずれも適正に管理されていることが確認されました。

委員会では、「利用者が増加し出納件数も多い中、適正に業務の執行ができています。また、他機関とも連携して対応することができている。」との評価をいただきました。

これからも権利擁護センターは、ご利用者の皆様の信頼に応えていけるよう、健全な業務運営に努めます。(権利擁護センター 高橋)

デイサービスの風景



北町高齢者センターコミュニティケアサロン



節分 豆まき

2月3日の節分はみずきこと一緒に豆まきです。北町高齢者センターの利用者の皆様は、優しくてなかなか鬼に豆を投げられません。鬼がチャーミングだったからでしょうか。そしてお福さんの登場の時は、やさし気な姿に「わ～」と声が上がリ、見とれている方もチラホラ。最後は、みずきこと一緒にハイチーズ、鬼もお福さんもセンターの大切なお客様です。

(北町高齢者センターコミュニティケアサロン 大木)

高齢者総合センターデイサービスセンター



赤鬼倒して春が来た!?

ある日センターに鬼が現れ、鬼退治で有名な桃太郎一行が立ち向かいました。優しい性格のA様扮する青鬼が乱暴狼藉を躊躇する様子に業を煮やして赤鬼が桃太郎に襲い掛かりました! B様、C様、D様扮する犬猿キジが豆の代わりに吉備団子を投げてやっつけました。そこへ赤い着物を着たお福さん登場。「春が来た。センターに来た♪」朗らかに、高らかに歌いました。ご利用者が演じる劇は大いに盛り上がりました。

(高齢者総合センターデイサービスセンター 中村)

老いじたく講座

- 老いじたくの基礎知識
3月24日(木)
10時00分～11時30分
@高齢者総合センター4階研修室
- エンディングノート講座
4月8日(金)
13時30分～15時00分
@福祉公社1階会議室

法律相談(成年後見関連)

毎月第2火曜日
(次回は4月12日 午後/予約制です)

法律相談(高齢者にかかる一般法律相談)

毎月第4水曜日
(次回は3月23日 午後/予約制です)



【問合せ・申込み】 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070

家族介護教室 みどりの輪 『転倒を防止しよう～生活環境を整える～』

日時 令和4年3月25日(金) 13時30分～15時00分(13時00分受付開始)
場所 高齢者総合センター 3階講義室
定員 15名 ※定員を超えた場合は新規の方を優先します。
講師 原陽子氏(武蔵野市住宅改修・福祉用具相談支援センター 理学療法士)
申込 事前にお電話にてお申込みください。

【お問い合わせ・申込み】 高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974



職員リレーコラム

お菓子を作る日




北町高齢者センター コミュニティケアサロン 梅澤みづき

毎年わが家では年1回、手作りのお菓子を作る日がある。それがバレンタインデー。毎年何を作るか娘と考えるのが楽しい。

一昨年は友達にも渡したいということでチョコチーズケーキを大量生産し、余りは家族で食べた。昨年はチョコプリン。今年は娘の希望でチョコタルトを作った。オーブンを使うのが怖くてタルトは市販品を購入し、チョコの部分だけ作る作戦だ。私達はレシピを適当に見ながら「まあ、こんなものでしょう」と適当にチョコやら生クリームを入れてみたらありえないほど分離

をしてしまい大騒ぎになった。インターネットで「チョコ分離直し方」と検索して事なきを得た。「すごいね。これ、あの分離からよくここまでそれらしい物ができたね」と娘と語り合った。牛乳を入れすぎて固まるのに時間がかかってしまい、食べられたのが次の日だった。しかし、あの分離から想像できない美味しさにびっくりし、夫も息子も喜んで食べたので結果オーライ。また作ろうと娘と言った。

来年は中学生の娘。いつまで一緒に作ってくれるのか少々気になりながら、タルトをおかわりした。

次回は  権利擁護センター 長谷川ゆかり

福祉公社 各部署のご案内



<ホームページ>

◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikosha.jp>

◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター
<https://www.m-machigurumi.jp>

◇ ホームヘルプセンター武蔵野 <https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)

武蔵野市福祉公社 本部 武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

総務課 ☎ 0422-23-1165
権利擁護センター ☎ 0422-27-5070
成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
生活自立支援センター(三鷹サテライト) ☎ 0422-66-2801
ケアプランセンター ☎ 0422-27-5076
ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター 武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター 武蔵野市緑町2-4-1

管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会

編集後記

桃の節句も過ぎ、春到来ですね。先月、福祉公社は設立40周年記念式典を開催し、改めて皆様からのお力添えを頂き、支えられていることを実感しました。これからも、春のような温かい気持ちで寄り添って、ご利用者支援をしていきたいと思っております。今年度も羅針盤をご愛読いただきありがとうございます。来年度もどうぞよろしくお願ひ致します。(生活自立支援センター 高岡)